

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災連携トップフォーラム事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111 (内2843)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 531 千円 (前年度予算額：731 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	731	0	0	0	0	0	0	0	731
要求額	531	0	0	0	0	0	0	0	531
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

近年、全国各地で集中豪雨、台風、土砂災害、大雪等による甚大な被害が発生している。岐阜県内においても、令和2年7月に続き、令和3年8月にも大雨により広範囲に被害が発生している。

災害が発生した際には、その都度、自治体の防災・危機管理体制がクローズアップされている。特に、住民の生活に最も関係のある市町村においては、住民への早めの避難の呼びかけ、的確な避難勧告等、住民一人ひとりが避難行動をとる判断ができる知識と情報を提供するとともに、住民の生命、身体及び財産を災害から守る重大な役割を担っている。

県としては、市町村が迅速・的確に避難指示等を発令できるよう、必要に応じた情報提供などの支援及び助言、緊密な連携が不可欠である。緊密な連携を実施するため、災害時のみならず、平常時から、市町村のスキルアップ研修などを行い、市町村防災体制の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

住民への避難勧告等、災害時に陣頭指揮を執る市町村長を対象とした「トップフォーラム」を実施し、市町村における防災体制の強化を図る。

- ・避難指示等や消防機関への出動命令などの権限を有している市町村長を対象に、災害対応能力の向上、防災・危機管理体制の強化を図る研修を実施
- ・地震、風水害などの災害対応についての実務演習を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

県主催のため県で負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	244	講師報償費
旅費	113	講師旅費
会議費	10	講師等弁当代
使用料	164	会場使用料
合計	531	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

大規模災害に備えるとともに、迅速な災害対応を図るため、県と市町村との間で災害対策に関する連携を強化するとともに、課題解決に向けた市町村職員研修などの支援及び助言を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

市町村の防災体制の強化を図るため、市町村からの要請等に即した適宜・タイムリーな支援が事業内容であるため、指標の設定にはなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 開催内容：「トップフォーラム（市町村長研修）」 開催日：令和2年6月23日 対象者：市町村長 コロナ渦における開催となったが、テレビ会議システムを活用して開催した。また、トップ及び幹部職員の研修を行うことで、市町村の防災・危機管理体制の強化に繋げることができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 開催内容：「トップフォーラム（市町村長研修）」 開催日：令和3年7月13日 対象者：市町村長 テレビ会議システムを活用して開催した。また、トップ及び幹部職員の研修を行うことで、市町村の防災・危機管理体制の強化に繋げることができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	大規模な災害発生に備えた強固な防災体制づくり、頻発する豪雨災害等の的確な対応、県と市町村との災害対策に係る連携強化をするための手段として、トップフォーラムの実施は必要性が高い
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	トップフォーラムの実施により、災害時における現場力が高まり、遅滞のない災害対応に繋げることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	次期出水期に備える適切なタイミングでの実施に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新たな災害対応における課題を毎年抽出し、常に市町村防災体制を更新していけるようにする必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県と市町村の間で積極的に情報交換を行い、住民の安全を確保するために必要なニーズの把握に努めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	